

滝ヶ原散策 ～小松よい所発見～

地域活動センターくろゆりでは『地域のよい所発見』と題し、地域の文化や歴史、自然を知ろうと書物を調べたり体験したりしています。今までにも「子供歌舞伎見物」により仏御前を知り、そこからまた「仏御前の墓参り」を行う等、どんどん広がりが出て繋がることに楽しさも感じています。さて、9 月には滝ヶ原に行き自然を満喫してきました。知る人ぞ知る「石切り場」は海外から勉強に来られるほどの有名所です！右下の機械で足元の石場を切って行きます。270 メートル切り取るのに 40 数年かかったとのこと！驚きの年月と技術に皆、感動でした。

地域活動センターくろゆり職員 中村 有紀



切り取られた石



これは滝ヶ原にある昔からの石橋アーチです。石橋アーチの建設は非常に難しいのですが、荒谷石材さんがお諏訪さん前の広場に現代風の石橋アーチを建設されました。是非探してみてください！



荒谷石材さん、ありがとうございました。

なごみの郷 これまでの動き(9月～11月)

販売会

9/1 にこにこ健康まつり
9/16 県福祉ふれあいフェスティバル
9/19 めぐみの里 出張喫茶
10/6～7 育成会北信越大会
10/13 白山眺望ウォーク
10/21 第2松寿園祭
10/26 メンボラ交流会
10/27 ドレミ祭
11/4 小松市社会福祉大会
11/21 めぐみの里 出張喫茶

メンボラ友の会

9/13 視点の会
9/15 ほっとサロン
9/24 味噌開き
10/11 視点の会
10/16 バスハイク
10/20 ほっとサロン
10/29 学びの会(絵手紙)

こまつ看護学校実習生

9/19～9/20...5名
10/10～10/11...5名
10/24～11/25...5名
11/7～11/8...4名

メンボラ主催バスハイク

10月16日(火) 毎年人気のバスハイクに総勢40名が参加しました。今年は九谷焼の絵付け体験。皆さん思い思いに筆を取り、オリジナリティ溢れる作品に仕上がりました。その後、能美市ふるさと交流研修センターさらいで食事をし、道の駅こまつ木場湯でお買い物。充実した一日でした。ボランティアの皆さん、ありがとうございました。(就労支援センターつばさ職員 宇野)



施設見学

10/13 けやきの森家族会様(石川県)
11/1 むつみの里様(富山県上市町)
11/12 ピアサポートのと様(石川県)

編集後記

年末に向けて気忙しい毎日。
あえて立ち止まってみる事で
良案に巡り合うかも！
『急いては事を仕損じる』



編集人：社会福祉法人 なごみの郷

連絡先：〒923-0851 石川県小松市北浅井町 123

TEL 0761-23-7232/FAX 0761-23-7284

E-MAIL iruka@d4.dion.ne.jp

ホームページアドレス URL <http://www.nagomi-no-sato.or.jp>

発行人：北陸障害者定期刊行物協会(富山県今泉312)

定価50円

HSK 毎月十二回 (一・三・五・八・十・十三・十五・十八・二十・二十三・二十五・二十八日) 発行
一九九四年八月四日 第三種郵便物承認

HSK 毎月十二回 (一・三・五・八・十・十三・十五・十八・二十・二十三・二十五・二十八日) 発行
一九九四年八月四日 第三種郵便物承認

増刊HSK なごみ通信

今月の花：蝦蛄葉サボテ



No.39 2012.12

障害者虐待防止法の施行

「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」(以下「障害者虐待防止法」といいます)が平成24年10月1日から施行されました。児童虐待、配偶者による虐待、高齢者虐待と続いての今回の法律施行です。障害者に対する虐待が障害者の尊厳を害するものであり、障害者の自立及び社会参加にとって障害者に対する虐待を防止することが極めて重要であると同法ではうたわれています。

具体的にどうすれば障害者虐待が防げるのか？なごみの郷では国や県のマニュアルを参考にし、全職員対象に学習会を開いています。直接支援にあたる職員だけでなく事務方の職員、送迎車のドライバーの方や厨房で調理を担当するパートの方、清掃をお願いしているシルバー人材センターの方も対象にしています。なぜなら、ひとりひとりの職員が人権尊重の意識を高めること、風通しの良い職場を作ることが虐待を防止する最善の道だと思うからです。行政等で実施されている研修会への参加も積極的に勧めています。先日受講した白山市の「地域のネットワークで障害者虐待を防ぐ」の講演会で、講師の野澤和弘氏(毎日新聞社論説委員)が『虐待リスクの少ない職場』として挙げられた下記の項目について、なごみの郷としてもこれまで以上に意識して行きたいと思います。

野澤氏が挙げる5つの職場環境

- ① 職員が仕事を楽しんでいる職場
- ② 大きな声であいさつができていく職場
- ③ あくなき探究心(人間に対する)
- ④ ミスを認められる柔軟性と謙虚さ
- ⑤ 職員が心身ともに健康



「相談支援センターなごみ」では、小松市と委託契約を結び、虐待に関する通報、届け出、相談窓口として機能して行くことになりました。虐待の防止、早期発見に役立つ窓口として市民のみなさまに認知していただけるよう啓発に努めてまいります。

支援部長 中田 なみ子

航空祭2012 in KOMATSU

今年は航空自衛隊小松基地様から特別見学会として市内の障害福祉サービス事業所が招待されました。航空祭の目玉と言えばやはりブルーインパルス。本番さながらの演技で観客を魅了。他にもお馴染みF15 戦闘機をはじめとする各種航空機・ミサイルやレーダー等の展示に皆さん大興奮。パイロットの制服を試着できるコーナーではツナギにヘルメットという本格的な装備も体験することが出来ました。終了後は案内をして下さった隊員の方原田さん・長谷部さんと一緒に記念撮影もし、メンバーさん大満足の日でした。貴重な体験をさせて頂き大変感謝しております。

自衛隊の皆さん、本当にありがとうございました!

就労支援センターつばさ職員 深田 千佳代

いい体験をさせてもらった。また機会があったらいきたいな。 N氏



自衛隊の服とか着てみて嬉しかった。 A氏



カメラを自分で持っていた。カッコ良く撮れていた。 K氏



パイロットが手を振ってくれて感動した I氏



インフルエンザ対策 手洗いについて



就労センターつばさでは、年に一度、南加賀保健福祉センターから講師をお招きし、食品衛生講習会を行っています。今回は参加者全員で手洗いの実験を行いました。

まず汚れの代わりとなる特殊な薬剤を手すり込み普段通りの手洗いをします。その後、ブラックライトを当て、洗い残しがないか確認。すると落としきれなかった薬剤がライトに照らされ白く浮かび上がります。爪の周りや指先、指の股、手の甲などに洗い残しが多く、正しい手洗いの難しさを実感しました。インフルエンザ予防に手洗いを推奨した結果、食中毒の発生数も比例して減少したとのデータもあります。つまり、感染症予防には手洗いが大変有効な手段だということがわかります。なごみの郷では毎年11月に利用者の方もスタッフも全員予防接種を受け、インフルエンザの予防と拡散防止に取り組んでいます。他人に染さないように心がけることも大切なことですね。皆さんはどのような対策をとられていますか?

【衛生講習会参加者の感想】

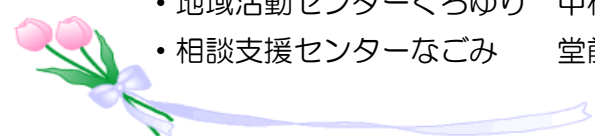
- ・ 爪の先の汚れが落ちていなくて、今後どの部分を中心に洗えばいいか分った(S氏)
- ・ 手洗いの大切さが分った(H氏) ・ 指先までよく手洗いをする(T氏)
- ・ きれいに汚れを洗い落としたつもりが結構汚れが残っていました(S氏)

就労支援センターつばさ職員(栄養士) 番 千恵子

第59回小松市社会福祉市民大会

11月4日に行われた小松市社会福祉市民大会において、当法人から3名の職員が勤続10年の功績を称え小松市社会福祉協議会会長 伊藤貞之氏から表彰されました。

- ・ 地域活動センターくろゆり 中村 有紀
- ・ 就労支援センターつばさ 番 千恵子
- ・ 相談支援センターなごみ 堂前 美春



ホームヘルプステーションなごみ

私たちがお手伝いします

～地域での生活をサポートする～

現在、ヘルパー3名で主に精神に障がいを持たれている方を中心に20件近いご自宅を訪問しています。利用される方の在宅生活を維持できるようにご本人と定期的に面談をしながら、生活の様子や現時点での生活能力・ご自身のペース・これまでの生活習慣などを考慮して総合的に勘案し真のニーズを共に辿り個別支援計画を立てています。この個別支援計画を元に経験豊富なヘルパーが、その時々々の心身状態や気持ちに合わせ、その日に出来ることを一緒に考え、やる気が起こるように声掛けをしながら本人主体の生活の質の向上(QOL)を目指して取り組んでおります。

サービス提供責任者はホームヘルプという部分だけに限定せず、生活全般を総合的に把握し、ホームヘルパーで何が出来るかを常に考えます。ホームヘルプステーションなごみとしては現法である自立支援法という名の通り、少しでも「自立」をサポート(支援)し、ヘルパーを利用される方が本人らしく、また元気で愉しく地域で過ごせるようお手伝いできたらと考えております。

サービス提供責任者 田島 崇行



なごみの郷消防訓練

防災意識を高めよう!

なごみの郷ではケアホームの入居者の方も含め年2回の消防訓練を行なっています。今回は、つばさとはまかせ合同で小松市消防本部(防災センター)に行き3D映画、消火体験、煙体験をしてきました。始めに地震災害の映画を観ました。防災センターの方のお話では、地震災害では発生直後に避難しようとして倒れてきたタンス等で怪我をされる方が多いので、自分の身を守る為にもまずは机の下に隠れる、揺れがおさまったら避難する事が大事だと言うことでした。その後、煙体験と消火体験を行いました。煙で足元の見えない建物内を移動する難しさ、消火器は短い間で初期消火をするという難しさを実感できました。今後も定期的に訓練を行っていき実際の災害、火災などが発生した時に活かせるようにしていきたいと思います。

皆さまも機会があれば是非、小松市消防本部防災センターに行ってみて下さい。また、災害時の避難場所を再度確認してください。

ケアホームなごみサービス管理責任者 木村 衣里



火元を狙って! 15秒が勝負!



消火成功!



年賀状印刷承ります

皆様のご注文を心からお待ちしております。

《はがき持ち込みの場合》

*年賀はがき 無地(インクジェット紙)でお願いします!

年賀はがきは、こちらでも用意できます。

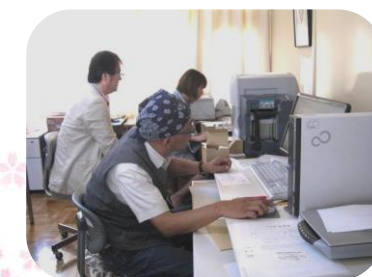
◇欠礼(喪中)はがきの印刷も承っております。ご相談ください。

※ご注文・お問い合わせ先

〒929-0105 石川県能美市中ノ江町と104の1

社会福祉法人なごみの郷 能美地域活動センターはまかせ

TEL (0761) 58-0753 FAX (0761) 58-0754 (担当 小川・藤岡)



パソコンの作業は、集中力があるので大変ですが、やりがいを持って印刷作業に取り組んでいます。今年も年賀状印刷を承っておりますのでよろしくお祈りします!! (印刷作業一同)